

広報

にしものが

第12号

平成18年

10月号

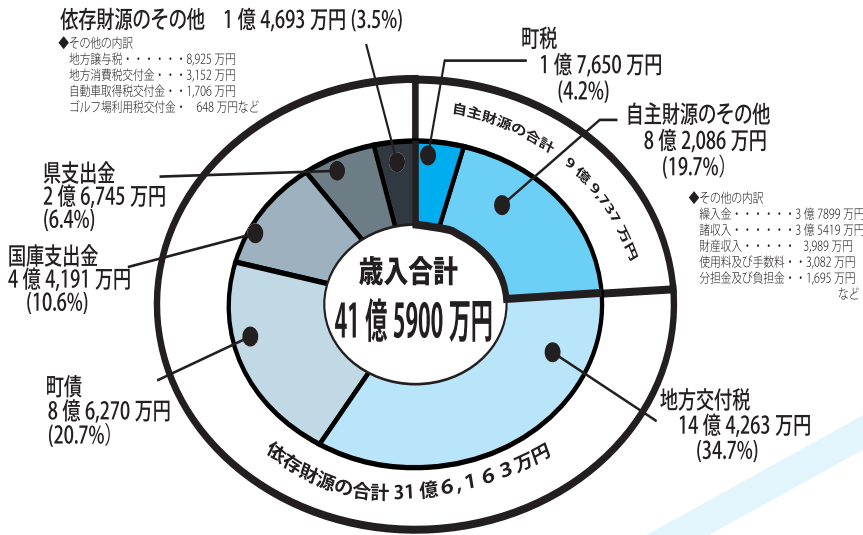
今月の内容

西和賀町の17年度決算	2~3
行革大綱(案)住民公聴会	4~5
町職員の給与を公表	6~7
高橋尚子さん国体準優勝	8
湯川温泉きのみまつり	12
沢内甚句大会	14
下前風景林の紹介	16~17

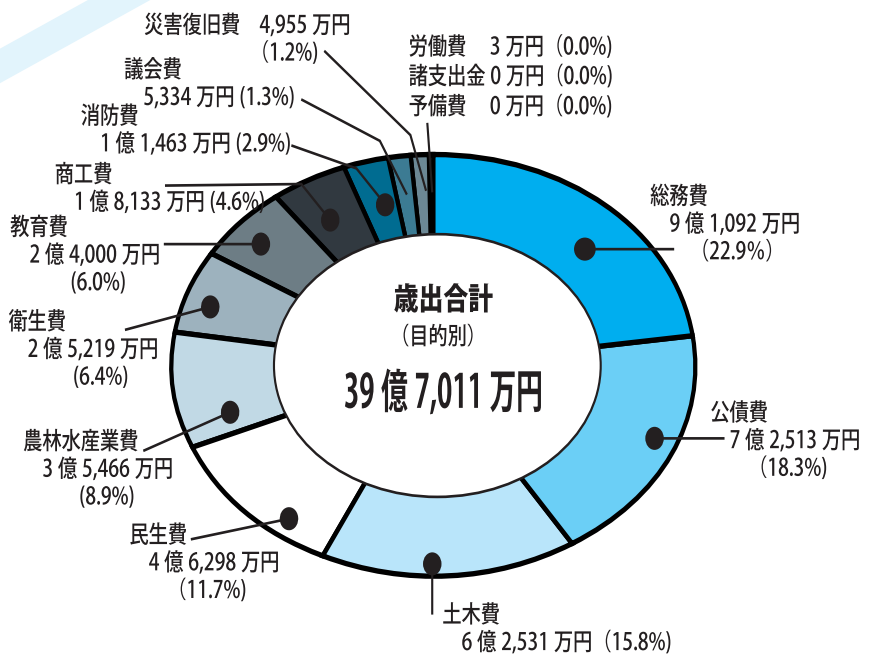
写真■9月21日・西和賀陸上記録会高学年400mリレー
アンカーの刈田林太郎君=6年・新町= (関連記事11P)

平成17年度の町の決算報告

9月12日～25日まで9月定例町議会が行われ、平成17年度の西和賀町の決算が認定されました。この決算は、昨年の11月から今年3月までの5か月間の収支決算になります。一般会計の歳入総額は41億5,900万3,748円、歳出決算額は39億7,011万8,921円でした（特別会計などは別表をご覧ください）。新町



になって初めての決算であることと、年度途中であったことから、比べるものがまだありませんが、歳入のおおよそ25%にあたる10億円が町税などの自主財源、そのほかは交付税などの依存財源でまかないました。また、歳出では次ページの主な事業を行いました。



※各項目の1万円未満は切り捨てしているため、合計が一致しません。

理解を深めるために

① 一般会計と特別会計

一般会計は、国からの補助金や交付金、税金などの財源を基にして、生活や福祉に必要な事業を行うための費用を一括して行う会計のことです。

特別会計は簡易水道、温泉事業、国民健康保険などのように、料金や保険料などの特定の収入を財源に、それぞれの事業を行うための会計のことです。

② 歳入と歳出

歳入とは町に入ってくるお金で収入のこと。歳出とは、町から出ていくお金で支出のこと。

③ 自主財源と依存財源

歳入には自主財源と依存財源があります。自主財源とは、町民税や法人税などの町税などを指し、一方の依存財源とは地方交付税や町債、国庫支出金、県支出金などが含まれます。

④ 町債

町が国や金融機関から借り入れるお金のこと。

⑤ 公債費

町がこれまでに借り入れた借金を返済するお金のこと。

⑥ 地方交付税

どの市町村でも同じように行政事務ができるように、国税（所得税、法人税、酒税、たばこ税など）のそれぞれの一定割合を、一定の基準により国が市町村に対し交付するもの。

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計(A)	41億5,900万3,748円	39億7,011万8,921円	1億8,888万4,827円

+

7つの特別会計	国民健康保険会計	4億8,814万7,444円	3億3,797万8,006円	1億5,016万9,438円
	老人保健会計	5億6,849万1,662円	5億6,828万5,266円	20万6,396円
	介護保険会計	4億2,507万9,509円	4億987万3,216円	1,520万6,293円
	簡易水道会計	3億2,814万7,325円	3億1,792万9,765円	1,021万7,560円
	下水道会計	4億8,382万2,872円	4億6,225万7,296円	2,156万5,576円
	農業集落排水会計	2,589万7,887円	2,476万9,856円	112万8,031円
	温泉会計	9,655万246円	9,385万6,964円	269万3,282円
特別会計小計(B)		24億1,613万6,945円	22億1,495万369円	2億118万6,576円

||

合計 (A) + (B)	65億7,514万693円	61億8,506万9,290円	3億9,007万1,403円
--------------	---------------	-----------------	----------------

※各会計とも歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は黒字決算になっています。

主な事業

(1万円未満は切り捨てています。また、旧町村で行った事業が新町にもそのまま引き継がれ、合併後に支払いをした事業もあります。)

◆自治振興費・・・・・・・・・・816万円

閉町記念事業費用(276万円)
10月23日閉町記念事業を行い、関連事業を行いました。(閉町式、湯田町の歩みビデオテープ、校歌CD製作)
閉村記念事業(539万円)
10月23日閉村記念事業を行い、関連事業を行いました。(閉村式、閉村の集い、テレビ番組制作)

◆西和賀町長選挙費・・・・・・・・888万円

◆保育所の運営費・・・・・・・・3,575万円

町内にある5カ所の運営費として支払いました。

◆中山間地域直接支払交付金・・・・8,850万円

農業生産が不利になっている中山間地域において一定の条件を満たす農地に対し助成しました。

◆森林整備地域活動支援交付金・・・・2,630万円

森林の有する機能が発揮されるように森林の整備に必要な地域活動に対し補助しました。

◆商工会に対する合併支援補助金・・・・550万円

湯田町商工会と沢内村商工会が円滑に合併できるように補助金を交付しました。

◆町道川尻小繋沢線災害防除工事・・・・4,137万円

ほっとゆだ駅から小繋沢地内に抜ける旧国道の落石防止工事を行いました。

◆防火水槽設置工事・・・・・・・・1,325万円

下の沢地内、猿橋地内、泉沢地内に防火水槽を設置しました。

◆町道蛭山線蛭山橋道路工事・・・・8,394万円

沢内庁舎から蛭山地内にぬける蛭山橋の道路舗装工事を行いました。同路線はことし10月24日に開通しました。

◆除雪車購入費・・・・・・・・6,988万円

ロータリ除雪車1台(湯田方面)、除雪ダンプトラック2台(湯田方面・沢内方面)を購入しました。

◆中学生海外派遣事業費補助金・・・・259万円

湯田中(生徒6人)はメリーランド州パイル中学校へ、沢内中(生徒5人)はペンシルバニア州ノースポコノ中学校を訪れ国際理解を深めました。

◆川尻地区公民館解体工事・・・・4,064万円

アスベストと老朽化のため川尻地区公民館を解体しました。なお、本事業は本年度に繰越(平成18年度分として支払うこととなります)しました。

◆町道安ヶ沢線災害復旧工事・・・・2,354万円

豪雨で安ヶ沢線(川舟地内)の和賀岳1号線橋の基礎部分が洗い流されたので復旧しました。

行政改革公聴会

2会場で厳しい意見

10月10日と11日の両日にわたり、町内2会場で「行政改革に関する住民公聴会」を行いました。

これは、今後5年間における西和賀町の行政改革の方針となる行政改革大綱の素案が、西和賀町行政改革審議会（為田直助会長・新町）でまとまったことを受けて、その素案の内容を説明し、みなさんから行政改

革に対するご意見をお聞きし、行政改革大綱最終申に反映させるために行ったものです（素案の大まかな内容については広報9月号をご覧ください）。

公聴会には、町側から高橋町長、高橋・新田両助役、高橋教育長、行政推進室職員と、今後の審議の参考とするために、行政改革審議会委員も出席しました。



太田老人福祉センターの様子

公聴会ではまず高橋町長が「公聴会とは、国や地方自治体のもっとも大事で基本的な事柄を、当事者や住民の意見を聞いて公平で正当なものにしていくために行うものです。今回は行政改革大綱の素案を、大枠としてこれでいいのか、内容としてどう進めていけばいいか、みなさんからのご意見をうかがうために行っている。こうした取り組みをとおして、本当の意味での町の行政改革にしていきたい」とあいさつがありました。続いて高橋智行推進室長（総務課長兼任）から町の財政状況や行政改革大綱（素案）の概要の説明がありました。その中で、行政改革のキ

ーワードとして「行政評価の導入による仕事の見直し」「住民と行政による協働の取り組み」「職員の意識改革の必要性」の3点をあげ、職員も住民も従来の考え方にとらわれず、町全体の仕組みを根本から見直さなければ本当の意味での行政改革にならない、と改革のポイントを述べました。

10月10日 湯夢プラザ

湯夢プラザ会場には、9人の参加がありました。参加者からは、厳しい財政状況を健全にするためには、町債（町が借金をして財源を確保すること）の発行額の削減や大幅な人件費削減をするべきという意見や、西和賀町らしい行政評価制度への要望、第三セクターなどの情報公開に対する意見などが出されました。また、もっと具体的な資料がないと判断できないという声もありました。

10月11日 太田老人福祉センター

太田老人福祉センター会場には、8人の参加がありました。参加者からは、人口規模に見合った機構を早く整備するべきという意見や、合併も大きな行革であり、すでに行革は始まっているので速度を上げて取り

組んでほしいという意見、先進自治体に学ぶなどして職員がやりがいと生きがいを持って頑張れとの激励の声などが出されました。

パブリックコメント 提案者なし

10月16日までの期間で募集していた、行政改革大綱（素案）に対するの意見・提言（パブリックコメント）の提案者はいませんでした。

公聴会やパブリックコメントなどの意見の反映や意向を把握することの重要性は、行政改革審議会でも強く述べられており、今後も町の重要な事項を決定する際には取り入れていきます。

12月に大綱・実施計画策定

町では、今回の意見などを踏まえてさらに検討を加え、行政改革審議会での審議を経て、12月に最終的な行政改革大綱をまとめることとしていきます。また、具体的な目標数値や財政計画などを示した実施計画も策定し、公表する予定です。

公聴会で出された意見より

(参加者からの意見を要約して表わしています)

何に対して	発言内容
財政の健全化	町税が増えなければ借金も減っていかない。借金しないためには町債を発行しないことが大事。無借金経営に切り替えていかなければならない。健全財政のためにはどこを一番減らせばいいと考えているのか見えてこない。(湯夢プラザ)
	人口1万人の町でも職員100人で経営が成り立つ。7,500人の西和賀町で、職員が200人というのは過剰ではないか。職員の数を減らすか、給料を町内の民間レベルに合わせて一律に減らすか、そうでもしないと今後つけが回ってくる。いかにリーダーシップをとって人件費を削減していけるかが、町長の一番の仕事だと思う。(湯夢プラザ)
職員の定数管理	役場の職員の削減は退職によるものとし、新規採用を控えるとなると、組織としてかえって不健全になる。(湯夢プラザ)
行政評価	行政評価は誰が、どのような方法で行うのか。たとえば、第三者機関のNPOやオンブズマンか。また、県の評価の状況を見ると、ハード事業はほぼ100%評価しているが、ソフト事業はどうしても低い評価になっている。事業によって片寄りのない西和賀型の評価制度にしてほしい。(湯夢プラザ)
第三セクター	第三セクターの経営の中身は、住民はほとんど知らない。施設管理の受託料が町から何千万円で、何にどれくらい使われているか。そうした中身をきちんと示さないと、良いか悪いかもわからない。指定管理者制度も検討するのであれば、きちんとした資料を示さないと、民間で指定管理者に手を上げる人もいないと思う。(湯夢プラザ)
組織機構	7,000人の人間が生きていくための行政サービスができる機構をつくるのが、行革の主たる目的でなければならない。人口の多かった時代の考え方が、そのまま引き継がれているとすれば、それは大きな間違いだ。合併によってさまざまな恩恵がある間に、自立した機構を作り上げていくことが行革の本当の使命であると思う。(福祉センター)
行政改革の取り組み	行政サービスが、今までとどう変化するのか、漠然としたものではまた堂々巡りになるのではないかと心配。具体的なものが出ないとわからない。住民から意見を聞いてというのはかっこいいが、資料が示されなければ、意見はなかなか出ないと思う。10年後はこうなるが、それについてどう思うか、と示してもらった方がわかりやすい。(湯夢プラザ)
	職員を減らすにしても、7,000人の体制にあった多様な行政サービスをどうしていくのかを住民に説明しないと、適正かどうかを判断できない。生き残るために合併に賛成したという住民の気持ちをくんで、携わる人は速度を上げて処理していかなければならない。行政改革には必ず痛みが伴う。私たちはそこまで覚悟しているのだから、もう少しスピーディにやってほしい。(福祉センター)
職員の意識改革	先進的な自治体では、自分達の行政はどのような方向に進むべきかを内部で徹底的に検討している。視察も多く受け、その対応をすることで職員のレベルアップにつながっている。ほかにも良いと思われる自治体は多くあるので、そうした例を大いに学んで、すぐに実施すべきだと思う。職員にもやりがいと生きがいを持って、町のためにがんばってほしい。(福祉センター)
行政への住民参加	行政への住民参加は、町の情報公開が進めば進むほど増えると思う。今回の公聴会でも住民の集まりが少ないが、内容は難しいかもしれないが行ってみたいなと思うような工夫があるべき。みんなで考えるような仕組みづくりを考えてほしい。(福祉センター)

町職員の給与などを公表します

それぞれの地方公共団体では、職員に関する給与などを公表することになっています。人事資料などに基づきその状況をお知らせします。

1 任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用及び退職 (平成17年度)

	西和賀町	湯田町	沢内村	計
採用者数	0人	0人	2人	2人
退職者数	2人	3人	1人	6人

(2) 職員定数管理 (各年4月1日現在)

ア 部門別職員数の状況と主な増減理由

区分	平成17年 (a)	平成18年 (b)	増減数 (b)-(a)	主な 増減理由
一般行政部	113人	118人	5人	合併による
特別行政部	33人	30人	△3人	合併による
公営企業等	59人	55人	△4人	合併による
合計	205人	203人	△2人	

※特別行政部は教育委員会、公営企業は病院・水道・下水道などの職員のことです。

※平成17年は湯田町と沢内村の合計値です。

イ 定員適正化計画の年次別実績

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	数値目標
職員数	228人	227人	224人	217人	214人	205人	—
前年からの増減	△6人	△1人	△3人	△7人	△3人	△9人	—

※合併以前の数値は湯田町と沢内村の合計値です。 ※数値目標は、行政改革大綱作成中のため空欄としています。

2 勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間 (正規の勤務時間) (平成18年4月1日現在)

職員の勤務時間は次のとおりです。

(保育所と病院勤務者の一部を除く)

ア 1週あたりの勤務時間は40時間

イ 1日の勤務時間 午前8時30分～午後5時15分

・ 休憩時間 正午から15分間、午後3時から15分間

・ 休憩時間 午後0時15分～午後1時まで

(2) 一般職員の年次有給休暇の使用状況 (平成17年)

年次有給休暇は1年につき20日付与されます。一般職員(町長部局に勤務する一般事務職員)の平均取得日数は9.8日でした。

(3) 一般行政職の級別職員数 (平成18年4月1日現在)

区分	代表的な職名	職員数	構成比
1級	主事・技師・保育士	3人	2.7%
2級	主事・技師・保育士	13人	11.7%
3級	主任・主任技師・主任保育士	27人	24.4%
4級	主任・主任技師・主任保育士	21人	18.9%
5級	主査・技術主査・上席主任保育士	7人	6.3%
6級	課長補佐・副主幹・所長・副所長	23人	20.7%
7級	課長・局長・事務長・主幹	5人	4.5%
8級	課長・局長・事務長	12人	10.8%
合計		111人	100%

※(2)の職員定員管理の一般行政部の118人との差は、労務職員1人及び嘱託職員6人によるものです。

(3) 育児休業の利用状況 (平成17年度)

職員は3歳に満たない子供を養育するため、3歳に達する日まで育児休業取得ができますが育児休業中は無給となります。

・平成16年度から引き続き育児休業を取得している者 1人

・平成17年度に新たに育児休業を取得した者 1人

(4) 介護休暇の取得状況 (平成17年度)

けが、病気、老齢の家族を介護するため、6カ月の範囲内で休暇をとることができますが、勤務しなかった時間に応じ給与が減額されます。取得した職員はいませんでした。

3 サービスの状況

職員は、全体の奉仕者として、公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行に当たっては全力を挙げてこれに専念しなければなりません。 ※平成17年度これに対する違反者はいませんでした。

4 給与の状況

(1) 人件費 (平成17年度普通会計決算)

人口 H18.3.31現在	普通会計歳出額	実質収支	人件費 (a)	人件費率 (b) / (a)	人件費率 H16年度
7,587人	70億3,386万7,000円	1億7,562万7,000円	12億6,654万円	18.0%	19.2%

※人件費率H16年度は湯田町と沢内村の合計値から計算した数値です。

(2) 職員給与費 (平成18年度普通会計予算)

職員数 (a)	給与費				一人当たり給与費 (b) / (a)
	給料	職員手当	期末勤勉	合計 (b)	
147人	5億2,086万4,000円	6,637万8,000円	1億9,994万8,000円	7億8,719万円	535万5,000円

※職員手当には退職手当は含みません。 ※給与費は平成18年度当初予算に計上された額です。

(3) 職種別・学歴別初任給及び経験年数別平均給料月額 (平成18年4月1日現在)

区分	決定初任給	採用2年目 経過後給料額	経験年数	経験年数	経験年数	
			10年	15年	20年	
一般行政職	大学卒	170,200円	183,800円	242,100円	307,700円	373,500円
	高校卒	138,400円	148,000円	212,600円	242,100円	334,900円

(4) 平均給料月額と平均年齢 (平成18年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	303,637円	39歳4月

(5) 特別職の報酬 (平成18年4月1日現在)

区分	町長	助役	教育長
報酬等月額	663,000円	553,000円	534,000円
区分	議長	副議長	議員
報酬等月額	250,000円	202,000円	186,000円

5 手当の状況

(1) 期末勤勉手当

(平成18年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	計
期末	1.400月分	1.600月分	3.00月分

区分	6月期	12月期	計
勤勉	0.725月分	0.725月分	1.45月分

(2) 超過勤務手当

(普通会計決算)

区分	16年度	17年度
支給総額	2,328万4,000円	2,405万5,000円
職員1人当たり支給年額	160,000円	16,400円

(3) 初任給調整手当

(平成18年4月1日現在)

支給対象	支給率	支給対象職員数
医師・歯科医師	10%	2人

※数値は湯田町と沢内村の合計値です。

(4) 扶養手当、住居手当、通勤手当

(平成18年4月1日現在)

区分	内 容	金額(月額)	支給職員数
扶養手当	1 配偶者	13,000円	74人
	2 配偶者以外2人まで	6,000円	
	・ 配偶者を扶養親族にしていない場合、そのうち1人	6,500円	
	・ 配偶者がいない場合、そのうち1人	11,000円	
	3 その他の扶養親族	5,000円	
※なお、16歳から22歳までの子の場合には、それぞれ5,000円が加算されます。			
住居手当	1 借家・アパート居住者 (家賃12,000円以上の場合、額に応じて)	14,000円～27,000円	10人
	2 自宅居住者 (新築・購入から5年以内)	5,000円	3人
通勤手当	1 交通機関等利用者	14,430円 (3ヶ月)	1人
	2 自家用車等利用者 (片道2km以上)	2,000円～23,600円	123人

(5) 特殊勤務手当

支給実績 (17年度普通会計決算)			197万1,000円
支給職員1人当たり平均支給年額 (17年度普通会計決算)			164,250円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (17年度普通会計)			8.2%
手当の種類 (手当数)			15種類
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
普通会計	行旅死病人措置手当	行旅死病人の收容その他の措置	1件につき700円 1時間以内の場合は500円
	保育士手当	保育所に勤務する保育士	保育業務 月額10,000円(平成19年3月31日まで)
	歯科衛生士手当	歯科衛生士	歯科衛生業務 月額12,000円
病院会計	死体処置手当	看護師	死体処置業務 1体につき600円の範囲内
	手術手当	医師	手術作業 1回1,000円の範囲内
	麻薬管理者手当	薬剤師	麻薬管理業務 月額5,000円
	医師特別手当	診療所に常時勤務する医師及び歯科医師	診療業務 病院長305,000円/月、その他の医師・歯科医師155,000円/月
	夜間看護手当	看護師	深夜において行われる看護等の業務 勤務時間数に応じ 2,000円～6,800円
	放射線取扱手当	放射線技師	放射線取扱業務 月額15,000円
	病理細菌取扱手当	臨床検査技師	細菌等取扱業務 月額15,000円
	薬学研究手当	薬剤師	調剤業務 月額12,000円
	歯科衛生士手当	歯科衛生士	歯科衛生業務 月額12,000円
	歯科技工士手当	歯科技工士	歯科技工業務 月額12,000円
	理学療法士手当	理学療法士	理学療法業務 月額12,000円
作業療法士手当	作業療法士	作業療法業務 月額12,000円	

※手当の種類、名称、金額等は平成18年4月1日現在です。※歯科衛生士手当は普通会計、病院会計の両方に対象者がいます。

6 分限処分および懲戒処分の状況

(平成17年度)

(1) 分限処分者数

※平成17年度これに対する処分を受けた者はありません。

(2) 懲戒処分者数

道路交通法違反により2人が減給処分を、監督責任により3人が訓告処分を受けました。

(3) 刑事処分者数

※平成17年度これに対する処分を受けた者はありません。

7 職員研修の状況

(平成17年度)

区分	受講者	主な研修内容
岩手中部広域行政組合	3人	吏員初級研修
岩手県町村会	4人	中堅、公営企業、税務各研修

8 職員の健康診断

(1) 健康診断受診者数

(平成17年度)

健康診断の種類	受診者数
循環器系検診	181人
胃検診	99人
子宮がん検診	27人
乳腺検診	28人

(2) 公務災害の認定状況

(平成17年度)

区分	認定件数
公務災害	一人
通勤災害	一人

スポーツの秋



のじぎく国体に 5人が参加

9月30日から10月10日までの「のじぎく兵庫国体」は、正式競技37競技、公開競技3競技（高校野球、ビーチバレー、スポーツ芸術）が行われました。ことしの国体から夏季と秋季が一本化され、岩手県からは、選手や監督を含む481人が派遣されました。

町からは、ボート競技に高橋尚子さん（法政大学3年・湯川）、米澤豪範さん（立命館大学1年・太田）、伊藤和法君（西和賀高校3年・新町）の3人、そして陸上競技に深澤礼美さん（西和賀高校1年・川舟）と照井貴子さん（水沢高校教員・長瀬野）が県代表と

して出場しました。

ボート競技は、10月1日から4日まで豊岡市の円山川城崎漕艇場で、陸上競技は10月6日から10日まで神戸市の神戸総合運動公園陸上競技場（ユニバー記念競技場）で行われました。

大会結果

【ボート競技】

- ◆成年女子シングルスカル
準優勝・高橋尚子さん
- ◆成年男子シングルスカル
8位・米澤豪範さん
- ◆少年男子シングルスカル
準決勝進出・伊藤和法君

【陸上競技】

- ◆成年女子1万m(10km)競歩
11位・照井貴子さん
- ◆少年女子3000m競歩
13位・深澤礼美さん

高橋尚子さん「予想以上の結果でした」

ボート競技で準優勝

西和賀高校時代は漕艇部に在籍し、高校生活最後のインターハイの女子シングルスカルで4位という結果を残し、平成16年3月の卒業後に法政大学に進学した高橋尚子さん（湯川）。

高橋さんは、大学進学後もボート部に入部し全日本新人戦大会や全日本軽量級で優勝するなど、その実力は高校時代から認められています。

国体での決勝戦では「本当にきついレースでした。予選、準決勝とも写真による着順判定とわずかな差で

決勝に進出したので」とレースを振り返ります。

高橋さんは、決勝で「500mまで相手の背中を見ながら漕ぎそのまま逃げ切る」作戦。スタートでトップをとることを心がけました。しかし、気持ちとは裏腹にスタートを失敗し、この時点で最下位になりました。気持ちを切り替え漕ぐことに集中しました。苦しいレース展開でしたが5600m付近で徐々にほかの選手が視界に入ります。ここぞとばかりに、あと300mを残す700m付近

深澤武志さん町内で初 平沼亮三章を受賞



対し毎年授与されます。

深澤さんは、教員採用後の昭和49年から退職時まで高校生の陸上競技に携わり、西和賀高校在籍時には今回の国体選手である照井貴子さんを育てるなど、

インターハイや国体に通用する選手を育成してきました。今回の受賞は、陸上一筋にかけてきた情熱と選手育成の指導力や手腕が、高く評価されたものです。

昨年3月に西和賀高校を退職した深澤武志さん（太田）が、高校陸上競技に対する指導者としての長年にわたる功績が認められ、この度「平沼亮三章」を受賞しました。授賞式は10月8日「のじぎく兵庫国体」の会場で行われました。

深澤さんは「わたしが、もらったのかと、最初は面くらいました。能力があっても伸ばしきれなかった生徒、強くなくても陸上競技を頑張って3年間続けた生徒、いろいろな生徒と出会ってきたことを思い出します。受賞は陸上競技関係者や教員たちのおかげです。今後も、微力ながら地域のスポーツ振興や健康づくりのお手伝いを続けていきたい」と話していました。

故・平沼亮三氏は（財）日本陸上競技連盟の初代会長を務め、1945年には大日本体育協会長に就任し、国民体育大会の創始者として活躍しました。

（財）日本陸上競技連盟では、平沼氏の功績をたたえ「平沼亮三章」をもうけました。これは、高校生競技者や18歳未満の勤労競技者の指導者として顕著な功績があり、かつ各都道府県陸協から推薦のあった方に

スポーツの秋



でスパートし、後半は無我夢中で漕ぎました。

「ゴール後は、体力を使い切り体が動きませんでした。自分が何位かどうかもわかりませんでした。2位とわかった時は本当にうれしかったです。予想以上に良い結果だったので今回のレースはラッキーでした」

大学での練習は、朝も早く、授業の後にまた練習が続くため、つらいと思うところもあるそうです。「でも、ボート競技は楽しいですよ。練習はつらくて当たり前のことです。逆にわたしは負けてばかりなので、もっと努力しないとダメだと思っています。練習次第で、レース結果は決まります。わたしを含めてですが、西高の後輩にも、練習を一

回一回しつかりと目標を定めて考えながら取り組み、練習の成果を信じてほしいものです。レースだけ頑張っても勝てません」と漫然と練習するのではなく、目的をもって練習に取り組む姿勢の重要性を話します。

高橋さんは、練習の大切さを自分に言い聞かせながら、続けてまわりのみんなが応援してくれることに感謝しつつ、その期待に応えるために日々練習していると言います。

今回の国体では「スタート時の瞬発力の力不足を思い知りました。今後は、瞬発力をつけるために、体をもっと鍛えて、動きにきれいを出すことが課題です。大学生活最後となる来年は、全日本大学選手権大会(インカレ)のクォドルプルで優勝することが大きな目標で



決勝でゴールしホッとする高橋さん 写真：岩手日報社提供

す。また、全日本代表選手に選ばれるように、選考会にも参加していきたいと思っています」と話し、国体が終了するやいなや、来シーズンに向けて自分の課題をしつかり見据えています。ボート競技をとおして、全国にたくさんの方々が、人とのつながりの中で自分自身の考え方も変化し、高橋さん。今後の活躍にも期待したいところです。

高北ロード

35人が力走

10月9日西和賀町陸上競技協会(高橋謙治会長・新町)による「第41回高橋北民記念ロードレース大会」が行われました。この大会は、湯田村陸上競技会協会長や同体育協会長を努めた故・高橋北民氏をたたえ行われています。

ことしは錦秋湖グラウンド(当初は国道107号で、その後交通量の増加に伴い上野々公民館を発着に)を発着にし、松倉橋を折り返すコースになりました。当日は、他のイベントなどとも重なったことから、例年のおよそ半分の児童など35人が参加し、それぞれ完走しました。



あやめ橋を通過する選手

軟式野球大会 湯本スポ少が制覇

優勝した湯本スポ少



9月30日沢内多目的広場で第1回西和賀町学童軟式野球交流大会が行われ、町内から5チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

この大会は、競技力の向上とスポーツ少年団同士の間で親善交流を目的に、西和賀町野球協会(菊池隆志会長・越中畑)が行ったものです。

第1回大会を制したのは湯本野球スポーツ少年団です。主将の小田島侑馬君(湯本小6年)は「優勝できてうれしい。でも、決勝戦では自分たちのミスで相手に得点されたので、そのミスを無くすように練習していきたい」と話していました。

スポーツの秋



県高校新人戦

大堰君2冠

9月14日と15日盛岡市の県営運動公園陸上競技場で第57回岩手県高校新人戦大会の陸上競技が行われました。

その結果、貝沢出身で盛岡工業高校に進学した大堰裕介君が名指導者の宍戸豊治監督（盛岡市）との出会いにより才能を開花させ、2種目で優勝するなど大活躍しました。そのほかの競技でも、町出身選手の活躍が目立ちました。

大会結果（入賞者）

◆男子円盤投げ

1位・大堰裕介（盛工2年・貝沢） 48 m 98 cm

◆男子やり投げ

1位・大堰裕介・50 m 22 cm

◆男子砲丸投げ

2位・大堰裕介・13 m 13 cm

◆男子400mハードル

7位・高橋輝（西高2年・長瀬野） 58秒21

◆女子800m

4位・刈田麻美（花巻東高2年・川舟）2分23秒16、

6位・照井愛（専大北上高1年・中村）2分26秒40

◆女子400mハードル

6位・菅野あゆみ（西高

2年・和賀東）71秒32

◆女子3000m競歩

4位・深澤礼美（西高1年・川舟）17分13秒70

秋晴れのもと 湯本学区民運動会

9月23日の秋分の日には、毎年湯本小学校学区民運動会が湯本小学校グラウンドで行われています。

ことしは64回を迎え台風などで中止になった年もありますが、大会は戦前から続いています。湯本小学校を学区とする行政区長が中心になり行っており、ことしの参加者は400人あまりでした。

山崎行夫大会会長（湯本行政区長）が「親睦と交流を深め楽しい一日にしてほ



地区のために頑張るぞ!!
撮影：高橋成治編集委員

しい」とあいさつし、澄み切った秋晴れのもと地区対抗による24競技が行われ、最後には仮装をしながらの盆踊りで締めくくりました。地区住民らは、この日に備え夜遅くまで仮装の準備をしたりと忙しい毎日でしたが、無事に競技を終えたことを喜んでいました。



優勝を喜ぶ大堰君
写真：盛岡工業高提供

新町マラソン記録会

田中さん新記録

ことしで25回目となる新町マラソン記録会は9月23日、沢内一小の新町マラソン記録会コースで行われ、秋晴れのもと118人が完走しました。

この大会は、児童生徒の健全育成と体力の向上を目的に、沢内地区に在住する児童生徒などが参加対象で1・2年は1km、3・4年が2km、5・6年が3km、

中学生は3kmを走ります。競技では、田中ゆかりさん（沢内一小・新町）が5年女子の部で、従来記録を3秒上回る12分29秒56の大会新記録で優勝しました。



完走を目指す選手たち

民警柔道大会

高橋君優勝

9月24日北上市総合体育館で、第47回北上警察署管内民警柔道剣道大会が行われました。このうち、柔道競技は団体5部門、個人6部門で行われ、鍛錬した技と力を競いあいました。

この大会は、柔道・剣道を通して青少年の健全育成や交通安全・防犯意識への向上を目的に行われています。

町内からは、一般の部に西和賀町柔道協会の会員、そしてスポ少の部に沢内柔道少年団が参加しました。一般個人戦は、準決勝で兄弟対決となり競り勝った柿澤伸吾さん（新町・兄）が2位に、柿澤元氣さん（弟）が3位に、団体戦は3位に入賞しました。

高校生男子個人戦では、高橋慧丞君（盛岡中央高校・大野）が優勝し、またスポ少の部は団体戦で3位に入賞しました。

スポーツの秋



9月24日錦秋湖で、西和賀高校漕艇部、西和賀高校

西和賀高校存続の一助に ボートで楽しむ

漕艇OB会などによる競技用ボートの試乗会が行われました。参加者は全体で40人あまりでした。

西和賀町ボート協会の高橋務会長（川尻）は「ボート競技の楽しさを知ってほしいということから行っただ。ボート競技を通して西和賀高校存続の一助と湖面活用という観点からもみん

な楽しんでもらいたい」と話していました。

参加者らは、陸上でこぎ方を教わり、いざ湖上へ。舵手付きクォドルプルに乗船し、こわごわとこぎ出しました。

参加者の佐藤藍さん（湯田中2年・下前）、南川恵美さん（湯田中3年・湯田）、高橋彩子さん（湯田中3年・湯之沢）の3人組は「息を合わせることが難しかったけど、徐々に合わせることでできて楽しかった



3人組はとてもきもち良さそう

たです。高校でもやってみたいです」などと感想を話していました。



80mハードルで2位の土井さん
撮影：深澤武志さん（太田）

◆女子W45・走幅跳
3位・土井政江・3m37
※競技の「男子M40」などで、Mは男子を、Wは女子を表し、それに続く数字は年代を示しています。



男子1000mでゴールを目指す選手

走って
跳んで
投げた

西和賀陸上記録会

9月21日湯本小学校グラウンドで、町内7校の小学校3年生以上による第61回西和賀小学校陸上競技記録会が行われました。

開会式では、越中畑小学校6年の成瀬汐音さん（中村）が「最後までがんばります」と声高らかに選手宣誓しました。

競技は、男女ともトラック競技とフィールド競技を

含めて24競技が行われ、選手らはこの日のために練習してきた成果を示し、最後まであきらめずに競技しました。

女子ソフトボール投げでは、沢内一小6年の佐藤麻美さん（新町）が、従来の記録を32cm上回る49m4cmを投げ、大会記録を更新し優勝しました。

男子1000mでゴールを目指す選手

土井政江さん2位 全日本マスターズ陸上

宮城スタジアムで行われ、町内から多くの選手が決勝に進出し頑張りました。

大会結果（入賞者）
◆男子M40・1500m
3位・山崎浩行（湯本）

9月16日
から18日に
かけて第27
回全日本マ
スターズ陸
上競技選手
権大会が宮
城県利府町
の宮城県総
合運動公園

- ◆男子M40・5000m
4位・山崎浩行・19分30秒70
- ◆男子M55・800m
6位・山本幸男（川尻）
2分33秒58
- ◆男子M55・1500m
8位・山本幸男・5分32秒09
- ◆男子M55・5000m競歩
4位・深澤武志（太田）
32分10秒92
- ◆女子W45・80mハードル
2位・土井政江（長瀬野）
18秒05

湯川温泉きのこまつり

恒例となった湯川温泉きのこまつりは10月7日と8日に湯川体育館で行われま

した。雨のため2日間の来場者数は例年を大きくしたまわ

る4080人でした。初日の来場者は1100人と過去最低となりました。10月

8日午前10時時点の盛岡地方気象台の発表では、発達した低気圧のため盛岡地域や花北地域で強風注意報が

だされるなど、県内は大荒れになりました。

きのこまつり実行委員長の高鷹政明さん（湯川温泉観光協会会長）は「ことしの

目当てのきのこを買い求める来場者



が遅く、きのこを確保するのに大変だった。一日目は嵐で今までで最低の来場者数になったが、この嵐ではしかたがないな」と一日目を振り返っていました。

来場したお客さんは、県内に限らず秋田ナンバーの車が多く見受けられました。来場者は「いつも楽しみにしている。値段が安いし、種類も豊富だ」「マイタケの良いのが出た。お買い得だった」「ナメコすくいも、十分に元をとったよ」と喜んでい

る様子でした。会場では、きのこの即売会やきのこがメインのレスランなども出店したほか、金魚ならぬナメコすくいなどのゲーム、ステージでは坂本神楽団や湯田やよい会の唄と踊りで盛り上がりま

した。また、きのこまつりのメインイベントである、きのこに精通した人を

選ぶ「ミスターきのこコンテスト」は、8日に行われ町内外から数十人が参加しました。

コンテストでは、ナメコ飛ばし、ナメコ早食い、丸太の早切りなどのゲームで勝ち抜き戦が行われコンテストをより面白くします。

決勝戦は勝ち残った2人が、きのこの形のりっぱな釣り竿で、小さいきのこをけしを釣り上げて台の上に並べるとい



ミスターきのこの決勝で優勝した佐々木齊さん（奥州市・左）

食欲の

食の安心安全

現地で親子探検隊

岩手県は平成17・18・19年度の3年間で、食に関する関心や理解を深め、望ましい食習慣を推進するため、県内459校の小学校5年・6年生を対象に「食育」事業を行っています。

北上教育事務所では、9月24日この事業の一環として「食の安全安心親子探検隊」による現地での見学会や従事する方から話を伺うなどして食に対する理解を深めました。

当日は町内小学校7校と煤孫小学校、和賀西小学校から児童と保護者がそれぞれ2組ずつ、そして学校栄養職員などおよそ50人あまりが参加しました

午前中は、毎日の学校給食で飲んでいる湯田牛乳の製造工場

で、製造過程や施設内を見学しました。牛乳がベルトコンベアで次々に生産される様子

をみて「すごい」などびっくりした様子でした。午後からは、貝沢で酪農をしている中野清一さんから、おいしい牛乳を作るために工夫していることや苦労話などを聞きました。川尻小学校から参加した5年の高橋沙恵さんと高橋良子さん親子は「牛乳がどのような工程で作られているのか。安全で安心して飲むための対策などを知ることができました」と参加した感想を話していました。



熱心にメモを取る参加者（牛乳公社で）

食べ物そして食生活を見直そう

猿橋小学校で食育まつり

最近、話題となっていることばに「食育」があります。食育基本法（平成17年6月17日法律第63号）では、食育は「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」であり、「食に関する知識と、食を選択する力を習得し、健全な食生活を送ることが求められている」としています。このことは、就業形態や生活様式が変化する一方で、食生活が軽視され、地域の特徴的な料理などが失われる危機に直面している現れといえます。

もういちど、食べ物や食生活を見直してみませんか？

9月30日猿橋小学校を会場に、沢内地域食育連携推進協議会など関係団体が中心になり「食育まつり」を行い、およそ200人が来場しました。

同協議会長の皆川豊子猿橋小学校長は「今の食生活で問題になっているのは、食べ物が危ない、そして食べ方が危ないこと。たとえば、何でも食べられる一方で食材の安全性が保障されているか、そして不規則な食生活や家族で食事を取ることが少なくなってきたのではないかと。心や体によい食生活とは、地域でとれた食材を手作りで調理し、家族みんなで食べることです」とあいさつしました。

そして沢内学校給食共同調理場から給食の人気メニュー「肉じゃが」、西和賀農業協同組合女性部からは郷土料理の「凍大根の煮付け」などの調



「わぁこれ、おいしそう」と試食会は大人気

理方法などが発表されたほか、会場では試食も準備されました。

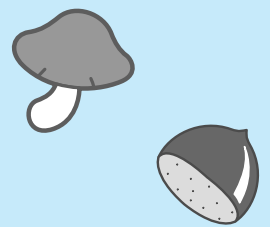
その後、町内の251家族から372点の応募があった「家族で作る食育標語コンクール」表彰式が行われ、最高賞



の食育連携推進協議会長賞には、貝沢小学校6年の久保香菜子さん「食

卓で顔をあわせ手をあわせ心をあわせていただきます」の標語が選ばれました。続けて教育委員会教育長賞2作品のほか、優秀賞など8作品の表彰がありました。

その後は、花巻市を活動の拠点にしている劇団ぜんとうようクラブによる「食と農から幸せワクワク物語」と題したミュージカルが上演されました。このミュージカルには、地元から十数人の役者が出演したとあって、食育を身近に感じる良い上演となりました。



秋



「稲を束ねるのは難しいです」

収穫されたもち米は、11月に予定されている沢内一小の「感謝の会」で、児童や地区のみなさんに振る舞われることになっています。

田んぼには「ひめのもち」が植えられ、およそ20俵（30kg入り）相当のもち米が収穫されたとあって、児童らは豊作を喜んでいました。

10月3日沢内第一小学校（浅沼誠校長・児童数81人）で、春に田植えをした学校の裏側にある田んぼで5年生13人が昔ながらの方法で稲刈りをしました。自分たちが田植えをした稲が成長したことに思いもひとしお。

昔ながらの方法で
沢内一小で稲刈り

沢内三千石
お米の出どころ
舟で計らねど
コリヤ箒で計る

沢内甚句全国大会

沢内甚句は、東北を代表する民謡の一つです。年貢米の代わりに進んで藩に身を差しだした庄屋の娘「およね」をしのぶ哀愁と、人々の豊作の喜びが複雑に交差している唄です。

後年になって「およね」の献身をたたえ「およね地蔵尊」が川舟の旧家吉左工門（現在の吉田孝勇さん）に建立されましたが、昭和38年9月23日に太田の浄円寺の境内に遷宮され現在にいたります。そのため、この日を命日として、沢内甚句の普及向上と民謡愛好者の親ほくを図ることなどを目的として毎年9月23日に全国大会を行っています。



毎年会場を盛り上げる久保完次郎さん（貝沢）

9月23日沢内バーデンで、第24回沢内甚句全国大会が行われ、県内外から唄と踊り部門に100人と4団体が出場しました。

開会式で町長は「県内外から多くの方々が出場してくれることをうれしく思う。どうか、存分に唄い、踊ってほしい」とあいさつしました。

唄の部には、少年少女の部（5才から中学3年生）、およね杯の部（高校生から69才）、寿年部（70才以上）の3部門があり、最高賞となるグランドチャンピオンにはおよね杯の部に出場した民謡教室講師の小野寺康子さん（神奈川県）が栄冠に輝きました。

小野寺さんは「こんなすばらしい賞をもらってうれしい」と喜びを話していました。

また、踊りの部門では優秀賞に湯田やよい子供会（酒本涼子代表・川尻）、奨励賞に沢内趣味の会（米澤ミツエ代表・太田）がそれぞれ入選しました。

なお、午後から始まった決勝の様子は、IBCラジオの「民謡まわり舞台」として公開録音放送されました。

湯本小学校学習発表会 演劇や踊りを披露

10月14日湯本小学校（小原千栄子校長・児童59人）で、町内小中学校に先駆けて学習発表会を行いました。

各学年から踊りや演劇が発表されたほか、全児童による群読などが披露されました。

児童らは、この日にそなえ練習を重ねてきました。湯本小学校では、音読などに力をいれており、多くの人の前で発表することも学習の一つです。

児童らは来場した祖父母らの前で、俳優顔負けの演技と、はきはきとしたせりふで、時には笑いを、時には涙を誘いました。来場者らは「すばらしい演技や演奏だった。たいしたもんだ」などと口々にしていました。

なお、21日は川尻小・越中畑小・沢内一小・川舟小で、22日は貝沢小学校と西和賀高校でそれぞれ行われました。また、28日は沢内中、29日は湯田中と猿橋小でそれぞれ行われます。



5・6年による劇「夏休み」

芸術の秋

29人が奏でる音色 西高吹奏楽部定演

9月24日銀河ホールで西和賀高校吹奏楽部による第2回定期演奏会が行われました。吹奏楽部は、新入部員8人を迎え29人で活動しています。

演奏は2部構成で、1部ではことしの北上地区大会で金賞を受賞した「15のハンガリー農民の歌」などが演奏されました。

休憩後の2部では、みんなもよく知っている北国の春などを含む演歌メドレーやソーラン節などが演奏され、生徒らは時にソロで演奏するなどきれいな音色を奏でていました。

会場には200人あまりが詰めかけ、演奏が終わるごとに拍手がわき起こりました。



「二音入魂」のTシャツで心を一つにする部員

いじめはやめよう
クリアホルダー贈呈

子供たちの健全育成に役立ててほしいと、西和賀町社会福祉協議会や北上地区更生保護女性の会など5団体が、町内の小学4年生全員にクリアホルダーを贈りました。

9月26日北上地区更生保護女性の会の吉田燦子会長らが沢内庁舎を訪れ、高橋教育長に人数分のクリアホルダーを手渡しました。

ホルダーには鬼剣舞をモチーフにしたマスケット「おに丸くん」のほか、「いじめはやめよう」「命はたった一つ」など子供たちへのメッセージが添えられています。

吉田会長は「子育てを支援し、将来誰も罪を犯さないような社会づくりのために活用してほしい」と抱負を話していました。



クリアホルダーに思いをこめて

ぜったいに火遊びしない
防火紙芝居で約束



消防署員の話に耳をかたむける園児

西和賀消防署員の立ち会いによる避難訓練が、町内保育所(園)で行われました。この西和賀消防署職員も加わったの避難訓練は、年一回行われています。

9月26日には川尻保育園(神成礼子園長・園児38人)で行われました。

まずは、西和賀消防署職員による「動物村の消防隊」と題する紙芝居が上演されました。芝居では、ネズミのチュータとウサギのウサキチが火遊びをして火事が燃え広がるという内容。

上演が終わると、園児らは感想を言い合いながら、最後に大きな声で「火遊びは絶対にしない」と約束しました。

その後に、消防車や救急車などに試乗しながら、緊急車両のことも学びました。

交通安全ダルマリレー
事故防止を呼びかけ

9月26日役場湯田庁舎前で、北上地区交通安全ダルマリレーが行われました。これは、北上警察署や交通安全推進団体などが、北上地区の学校や事業所などを訪問し、交通安全と事故防止の徹底を呼びかけます。

一日北上警察署長となったミス北上の小野寺理恵さんが「シートベルトの確実な装着、ライトの早め点灯など交通事故防止のため、これまで以上に協力をお願いします」とメッセージを町長に手渡しました。

町長からは「幼児の事故、飲酒の事故など目を覆いたくなる事故が発生している。わたしたち職員は交通ルールを守って、交通事故を絶対に起こさないよう誓いたい」と決意表明がありました。



ダルマに署名する町長

怖がらないで
越中畑で理科実験



凍ったバナナを頭で割ります

9月20日越中畑小学校(田村壮一校長・児童19人)で、ベルマーク教育助成財団による「実験名人ベルマーク実験教室」が岩手県内で初めて行われました。

講師は、島根県の出雲科学館館長の曾我部国久さん。曾我部さんは、さまざまな理科実験を通して「みなさんの身の回りにある不思議なことに気づいてほしい」と話しさまざまな実験を行いました。

実験の一つは、液体窒素(マイナス197度)にゴムボールやバナナを入れるとどうなるか、もし手だったら、というもの。

液体窒素に入るとボールやバナナは、一瞬でカチンコチンに凍りました。これに手を入れればどうなるか。勇気をもってチャレンジしたのは同校5年の菊池陽介君です。菊池君は「怖かったけど、手が凍らないのでびっくりしました」と感想を話していました。液体窒素の中に、手を数秒入れただけでは凍りません。

下前風景林

伝説とともに大自然を満喫

先月号に引き続き、今月号では下前風景林を紹介しします

その2

ブナ原生林が生い茂る下前風景林には、大小あわせて8つの滝があります。

下前風景林に行くには、清水ヶ野地区で主要地方道盛岡横手線から行く方法と、左草地区を経由する方法があります。

ここでは、県道から行く方法を紹介します。最初の目印は、県道沿いにある道路標識です。看板に従い、まずは下前地区を目指します。本線をしばらくまっすぐ進むと、分岐します（A地点）。道なりに進むと秋田県美郷町（旧六郷町）ですが、現在も工事中で途中で行き止まりになります。下前風景林に向かうには、ここで向かって右方向に下るように進入します。途中までは舗装道路ですが、しばらくすると砂利道になります。砂利道は側溝などもないため、かなり荒

れているほか、水はけが悪く雨の翌日などは水たまりも多くできます。道路幅が狭いのでスピードの出し過ぎ、対向車とのすれ違いには注意して通行する必要があります。

駐車場地点のおよそ700mほど手前に、鳥居（向かって左側）があります。ここが三滝不動明神への入り口です。三滝不動明神に向かうには、ここで駐車し、徒歩10分ほどで不動明神に到着します。

湯田庁舎から車を走らせることおよそ30分で、駐車場（B地点）に到着します。駐車場には、登山日誌が備え付けられているので、必要事項を記入し入山してください。

駐車場からすぐに急こう配の下り坂になります。10分ほどで白糸の滝に向かうC分岐点に到着します。

白糸の滝に向かうには、駐車場口よりも急な坂をくだらなければならぬので、帰りに寄るのも方法の一つです。白糸の滝は、奥に続く道から見下ろすこともできますが、できれば間近でみたいものです。

駐車場口と白糸の滝に向かう坂以外は、平らな道が続きます。女神霊泉に到着して岩手県の名水20選に選定された霊水でひと休みです。霊泉のすぐとなりには、岩清水もあります。ここで、左に進むと女神山の登山口（ブナ見平経由）です。また、この霊泉から奥に向かつて川沿いに進むと降る滝です。

【お願い】
駐車場までは悪路が続くほか、道路幅も狭いので、慎重に運転してください。また、行程は川を渡らなければならぬ場所もあり

ますので、晴れていても長靴が必要です。熊の目撃情報はありませんが、一人では出かけずに複数人で出かけましょう。備えあれば憂いなしです。雨対策や着替えなども

しっかりと整えてから出かけましょう。【お知らせ】
駐車場では、過去に車上からの盗難事件が発生していますので、貴重品などの管理にお気を付けてください。

白糸の滝～降る滝 到達予定時間

- 湯田庁舎 ↓ 車で20分
- A地点（県道分岐点） ↓ 車で15分
- B地点（駐車場） ↓ 徒歩で10分
- C地点（白糸の滝分岐点） ↓ 徒歩で5分（急こう配です）
- ①白糸の滝 ↓ すぐ脇
- ②姥滝 ↓ 徒歩で5分（急こう配です）
- C地点（白糸の滝分岐点） ↓ 徒歩で5分
- D地点（女神山尾根コース登山口） ↓ 徒歩で1分
- ④爺滝 ↓ 徒歩で3分
- ⑤女神霊泉 ↓ 徒歩で1分
- ⑥岩清水 ↓ 徒歩で5分
- ⑦降る滝 ↓ 徒歩20分
- A地点（県道分岐点） ↓ 車で15分
- 湯田庁舎

「大蛇伝説」 滝の名の由来

笹峠は、南部藩と佐竹藩を結ぶ重要な交易路線でしたが、原生林が生い茂り昼でも暗く、険しい峰と絶壁で転落のおそれもある峠だったそうです。特に「白糸沢」までの区間は、沢や沼が入り組んだ迷路になっていて、身の毛もよだつ妖気が漂っていたと言われます。

ひやげ滝



不動の滝





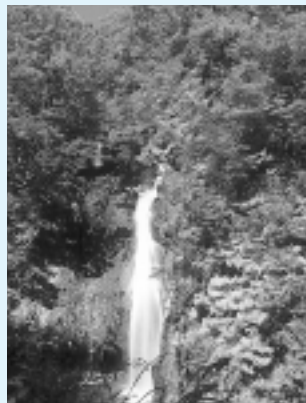
不動の滝・ひやげ滝・姫滝は高橋定雄編集委員、降る滝は高橋成治編集委員が撮影。

降る滝



この水は、下前地区では、今年7月3日を例祭日とし、用水の確保や五穀豊穰、家内安全を祈ったとされています。この話がいよいよ伝えられ、今でも下前地区では毎年地区民や関係者らがお参りしています。

姥滝



以来、下前地区では、この水源一体を信仰の山として大切に、毎年7月3日を例祭日とし、用水の確保や五穀豊穰、家内安全を祈ったとされています。この話がいよいよ伝えられ、今でも下前地区では毎年地区民や関係者らがお参りしています。

白糸の滝



この時の巨岩が、現在の三滝不動明神が祭られている岩で、白糸の滝を「白糸の姫滝」と呼ぶようになった。この時、大蛇を退治し山越えの安全を祈ったとされています。

姫滝



この妖気の正体は、「蛇抜けの沢」の主の「大蛇」と言われ、旅人や里人を震え上がらせていたそうです。ある時、南部のお姫様が沢内通りを通りこのことを知ります。そのお姫様は、旅人と里人の苦勞に、大蛇のいる巨岩の穴に自分の長い髪の毛を切り取り、真っ赤なくしと一緒に供え、お供の乳母や爺やも加えて、大蛇を退治し山越えの安全を祈ったとされています。



湯本鬼剣舞保存会による奉納舞

宝くじの発売総額のうち、賞金や印刷経費などを除いたおよそ4割が発売元の都道府県などに還元され、地域振興事業などに使われています。この財源をもとにして(財)岩手県市町村振興協会(谷藤裕明理事

平成16年度の宝くじ販売実績は1兆742億円で、枚数にすると約46億622万枚(ジャンボ、ロトなども含む)でおよそ国民1人当たり年間36枚を購入している計算になります。

宝くじ販売総額1兆円
その4割は
地区に還元

コミュニティー
助成の活用を



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

企画課(湯田庁舎) ☎82-3284

【お問い合わせ先】

19年度分の申請は11月6日までです。詳しくは25ページをご覧ください。
長・盛岡市長)では、地区などで広域的な共同活動を行っている団体に、その活動が地域に密着していることを条件に「コミュニティー助成事業」を行っています。このコミュニティー助成事業は1件につき、100万円から250万円(10万円単位)が助成され、団体の負担も少ないのが特徴で、施設または設備(備品)の整備などに使うことができます。本年度は、湯本鬼剣舞保存会(小笠原弘明会長・湯本)に対し鬼剣舞用衣装の購入費などに助成しました。9月7日から9日まで行われた湯本温泉神社祭典では、購入した衣装をまとった子供鬼剣舞の剣士が地区住民に勇壮な踊りを披露しました。この助成事業を活用し各地区や団体が様々な取り組みを行っています。例えば、昨年度は新田郷地区公民館運営委員会の提灯や太鼓などまつりの備品整備に対し190万円、新町地区の新町マラソン記録会で使用するテントなどの整備に140万円。一昨年は安ヶ沢地域振興会の「カタクリの里」トイレ設置事業に対し250万円を助成しました。

にしわが職業体験フェスティバル
地場産業の紹介と地域貢献

10月15日夢プラザ前広場で、町内では初の企画となる「にしわが職業体験フェスティバル」が行われ300人あまりが来場しました。

このフェスティバルは西和賀商工会青年部が中心となり、次世代を担う児童や生徒を中心に職業体験を通して職業理解を深めてもらうことや地場産業の紹介、ひいては地場産業の地域貢献を目的として行われました。

児童や生徒らは、体験コーナーで木材で郵便ポストを作ったり、建設機械を動かしたり、自動車のタイヤ交換をしたりと貴重な体験をしました。

郵便ポスト作りを体験した高橋悠太君(湯本小2年・湯之沢)は「楽しかった。冬休みの自由研究にしようかな」と話していました。また、一般の来場者からは「町内でも名前しか知らない企業があったが、そこでどんな業務をしているのか知ることができた」などの話がありました。



バスの日イベントで
ボンネットバス弁慶号

西和賀地域バス交通利用促進協議会(高橋繁会長)と岩手県交通



では「バスの日」にちなんで、昔懐かしいボンネットバス弁慶号を10月7日に運行し、イベントを盛り上げました。

弁慶号は、この日4便運行され、乗客らには「リンドウ」が無料配布され、通常の路線バスがこの日に限り1回の乗車を町内区間であれば100円で利用できるほか、乗車した方には協力商店などで割引などが受けられる特典がありました。

弁慶号には「昔はこのバスだけだったよ。本当に懐かしいね」などとワクワクしながら話す乗客の姿がありました。

無投票で終わる

農業委員会公選委員決定

10月17日に告示された西和賀町農業委員会委員選挙は、両選挙区とも定数を超えないため、立候補者全員が無投票での当選が確定しました。西和賀町農業委員会委員は、今回の公選委員15人（5人減）のほか、農業関係団体からの推薦委員3人と議会からの推薦委員4人の合計22人で構成されます。任期は3年間。11月初旬の農業委員会会議で、会長などが選出されます。

当選者（届出順）

◆沢内選挙区（定数9人）

- 現・石川 勝さん（大野）
- 現・菊池良一さん（泉沢）
- 現・内記信也さん（前郷）
- 現・照井 亨さん（長瀬野）
- 現・柿澤繁俊さん（鍵飯）
- 新・田中嘉勝さん（貝沢）
- 現・南川幸一さん（新町）
- 現・高橋滝男さん（川舟）
- 現・藤原 隆さん（若畑）
- ◆湯田選挙区（定数6人）
- 新・中島達郎さん（小繫沢）
- 新・佐藤清一さん（下前）
- 現・竹澤長一さん（槻沢）
- 現・高橋 護さん（湯田）
- 現・籠山 實さん（中村）
- 現・照井廣男さん（鷺之巢）

入札執行状況

次のとおり入札を行いました。施行箇所などの詳細については、担当課までお問い合わせ下さい。

9月14日執行分

担当課／農林課 施工場所／貝沢
 工事名／沢内堆肥センター改修及び新乾燥棟建設工事
 内容／前処理施設工事1式、新乾燥棟工事1式、既存堆肥センター改修工事1式
 契約者／(株)千葉匠建設
 契約額／7717万5000円
 工期／H18.9.20～H19.2.28 落札率／96.8%

担当課／農林課 施工場所／左草
 工事名／左草地区農業用排水施設測量調査業務委託
 内容／路線測量2.8km、環境調査一式
 契約者／(株)キタテック
 契約額／945万円
 工期／H18.9.20～H19.1.15 落札率／97.47%

9月27日執行分

担当課／建設課 施工場所／湯本
 工事名／湯本流雪溝取水ポンプ取替工事
 内容／既設ポンプ撤去2台、新設ポンプ設置2台、電気工事1式
 契約者／(株)西島製作所仙台支店
 契約額／682万5000円
 工期／H18.10.3～19.1.15 落札率／97.25%

担当課／建設課 施工場所／大野
 工事名／町道小田沢線道路舗装
 内容／舗装工（本線・据付）898㎡、舗装工（取付）71㎡
 契約者／柿沢建設 契約額／661万5000円
 工期／H18.10.3～12.1 落札率／98.33%

担当課／建設課 施工場所／川尻
 工事名／町道川尻湯田線防護柵設置工事
 内容／ガードレール設置55m、ガードレール撤去40m
 契約者／(有)淀川組 契約額／74万5500円
 工期／H18.10.3～11.16 落札率／93.42%

担当課／町民課 施工場所／上野々
 工事名／町営住宅上野々団地排水設備改修工事
 内容／撤去工事1式、衛生器具設備工事1式、屋内排水設備工事1式

契約者／(有)薄井組 契約額／735万円
 工期／H18.10.3～H19.1.15 落札率／99.29%

担当課／町民課 施工場所／上野々
 工事名／町営住宅上野々団地排水設備改修工事
 内容／撤去工事1式、衛生器具設備工事1式、屋内排水設備工事1式
 契約者／(有)湯田機械 契約者／766万5000円
 工期／H18.10.3～H19.1.15 落札率／99.73%

担当課／建設課 施工場所／上野々
 工事名／歴史民俗資料館排水設備工事
 内容／配水管布設工事10m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)西和河道土木 契約額／36万7500円
 工期／H18.10.3～11.10 落札率／90.21%

担当課／建設課 施工場所／上野々
 工事名／上野々公民館下水道接続工事
 内容／配水管布設工事22m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／時雄屋 契約額／115万5000円
 工期／H18.10.3～11.10 落札率／96.58%

担当課／建設課 施工場所／川尻
 工事名／川尻体育館下水道接続工事
 内容／配水管布設工事43.9m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)佐藤建設工業
 契約額／143万9025円
 工期／H18.10.3～11.30 落札率／93.49%

担当課／町民課 施工場所／猿橋
 工事名／町営住宅猿橋団地排水設備改修工事
 内容／撤去工事1式、衛生器具設備工事1式、屋内排水設備工事1式
 契約者／(有)近藤設備 契約額／609万円
 工期／H18.10.3～H19.1.5 落札率／98.46%

担当課／建設課 施工場所／太田
 工事名／太田公民館下水道接続工事
 内容／配水管布設工事24.2m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)米沢工務所 契約額／367万5000円
 工期／H18.10.3～11.10 落札率／98.37%

担当課／建設課 施工場所／猿橋
 工事名／猿橋公民館下水道接続工事
 内容／配水管布設工事24.85m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)高橋重機 契約額／173万2500円
 工期／H18.10.3～11.10 落札率／97.69%

担当課／建設課 施工場所／泉沢
 工事名／泉沢公民館下水道接続工事
 内容／配水管布設工事8.5m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／柿沢建設 契約額／236万2500円
 工期／H18.10.3～11.10 落札率／97.15%

担当課／建設課 施工場所／猿橋
 工事名／猿橋小教員住宅下水道接続工事
 内容／配水管布設工事17.55m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)美設備 契約額／185万8500円
 工期／H18.10.3～H19.1.5 落札率／93.7%

担当課／建設課 施工場所／新町
 工事名／沢内一小教員住宅下水道接続工事
 内容／配水管布設工事34.20m、屋外工事1式、水道工事1式
 契約者／(有)松川工務店
 契約額／205万8000円
 工期／H18.10.3～H19.1.5 落札率／97.13%

担当課／建設課 施工場所／川舟
 工事名／下水道川舟地区舗装本復旧工事
 内容／施工延長1,774m、舗装復旧工5,670㎡
 契約者／(株)NIPPOコーポレーション岩手支店
 契約額／2520万円
 工期／H18.10.3～H19.1.5 落札率／98.86%

担当課／建設課 施工場所／長瀬野
 工事名／長瀬野地区マンホール・浄化槽撤去工事
 内容／マンホール撤去1式、浄化槽撤去1式
 契約者／(有)栄和工業 契約額／275万1000円
 工期／H18.10.3～11.13 落札率／98.64%

担当課／生活環境課 施工場所／樺沢
 工事名／樺沢地区防火水槽設置工事
 内容／防火水槽FSF-405A 1基
 契約者／羽柴興業 契約額／493万5000円
 工期／H18.10.3～12.1 落札率／99.98%

担当課／生活環境課 施工場所／下左草
 工事名／下左草防火水槽設置工事
 内容／防火水槽FSV-40 1基
 契約者／高正組 契約額／729万7500円
 工期／H18.10.3～12.1 落札率／97.58%

担当課／沢内病院 施工場所／太田
 工事名／沢内病院及び母子健康センター屋根塗装工事
 内容／下塗1,166㎡、塗装1,166㎡
 契約者／(株)照井塗装 契約額／249万9000円
 工期／H18.10.3～11.13 落札率／57.49%

9月12日放送分

地域との連携



ワークステーション湯田・沢内は、西和賀町で暮らす40人の障害者が通う施設で、通所者は仕事をしながら自立を目指しています。仕事は主に農作業と農産加工で、1.2畝の農地を耕作し、水稻や大豆、山菜などを栽培しています。収穫物は主に「ふるさと宅急便」として都市住民の方々に発送しています。これは都市と農村の交流事業で、障害者が担い手となりハンディキャップがあっても地域おこしの一端を担えるということです。

また、ワークステーション敷地内のテントショップでも販売しているほか、毎週金曜日に盛岡市の「都南プラザ」に通所者自身が出向いて販売しています。

さて、4月から実地された「障害者自立支援法」で、障害の程度に関係なく障害者も地域で生活することが求められています。そのためには、働く場やデイサービス、住宅や所得の確保などが必要です。

また、同じく4月から障害者福祉サービスに原則1割負担と食費負担が導入されました。地域で暮らす障害者にとっては大きな負担です。

どうすれば障害者が西和賀で生活していけるか、地域の課題としてみんなで考えたいものです。

(ワークステーション湯田・沢内
事務局長 高橋典成)

8月29日放送分

基本健診の受け方



町では、9月から11月までの間基本健康診査を行っています。対象は40歳以上で、高血圧などの治療を受けている人や職場健診、人間ドックを受ける人は除きます。健診料金は1,300円で70歳以上は無料です。

また、65歳以上で介護が必要になる可能性がある「特定高齢者」を把握することを目的に、本年度と来年度の2年間、65歳以上全員を対象にした基本健診を行います。なお、介護保険を利用している人や寝たきりや歩行困難な人はこの健診の対象にはなりません。

通知書と問診票は保健委員を通じて対象者全員に配布します。必要事項を記入し、切り取らずに検査当日会場に持参してください。50歳以上の希望者には前立腺がん検診も行いますので、当日受付に申し出てください。料金は780円です。

また、大腸がん検診の対象者の人には採便容器と問診票を配布します。検診日の前日と当日の2日分の便をとり、問診票に記入して一緒に持参してください。料金は680円です。

なお、健診は指定された会場以外でも受診できます。

(保健福祉課保健師
北島幸恵)

有線放送から

くらしと健康

有線で放送した「くらしと健康」
から抜粋しお知らせします

9月26日放送分

介護予防の役割



4月から介護保険制度が変わり、介護予防に重点が置かれることになりました。町ではこれに合わせて、沢内病院内に「地域包括支援センター」を設置しました。

介護予防は大きく分けて①介護認定をすでに受けた人で、新たに要支援①または要支援②に認定された人を対象とする介護予防②介護認定を受けていない65歳以上の人で、将来介護認定を受ける可能性のある人(特定高齢者)に対する介護予防の2つです。地域包括支援センターでは、このような人に対し、介護予防の計画を作成することになっています。

①に該当する人は、これ以上体の状態が悪くならないように、また、できるだけ体の機能を向上させるために、その人に合った予防計画を作成し、デイサービスやリハビリといった介護予防サービスを受けてもらいます。

②の特定高齢者の人は、現在行われている基本健診の中で検身や問診を行い選定します。この方々に対しても予防計画を作成し、トレーニング教室や栄養教室などへの参加をすすめることにしています。特定高齢者への介護予防事業は、年度内には開始できるような準備を進めています。

地域包括支援センターは、高齢者の人が地域の中で自立した生活ができるようお手伝いします。

(地域包括支援センター主任 早川 求)

みんなの声

小学校の統廃合

西和賀町がスタートして早1年、町内小学校の児童数は7校で300人（ことし4月現在）、平均すると

43人です。町内では沢内第一小学校だけが辛うじて単式で、そのほかの小学校は複式になっていきます。複式の割合は、6校で13学級もあります。かつて旧湯田町では、越中畑小学校の川尻小学校への統合案がだされたと記憶しています。

そろそろ全町的に、小学校の統廃合に向けて考えなければならぬと思います、この件について町長や教育長はどのように考えているのか、ぜひ伺いたいと思います。

（一町民・男性・70歳代）

回答

みなさんもお承知のとおり、西和賀町は少子高齢化のため、年々児童や生徒が減少している傾向にあります。町では児童のより良い充実した教育を保障するため、小学校の適正配置検討委員会を設置しました。メンバーは各小学校の

PTA会長や一般公募での委員を含め20人で、10月26日に第1回目の会議を行う予定です。

そして今後の検討委員会での検討や旧湯田町での考え方をふまえながら、将来的な展望にたった小学校のあり方を検討していきたいと考えています。

（町長 高橋繁）

ご指摘のとおり西和賀町の小学生数は7校で300人です。

ご意見のとおり教育委員会では、今後も児童の増加が当面望めない現状から、統廃合についての検討が必要で9月5日に全世帯に

「新しい西和賀町を拓く子どもたちのために」と題したチラシを配布し、現状をお知らせしたところ

です。そして少子化などの中で子どもたちに、より良い充実した教育をおこなうにはどのような姿が望ましいかなどについて検討するため「西和賀町小学校適正配置検討委員会」を設置しました。

検討委員会の話し合いの結果は広報などでお知らせしたいと考えています。平成19年度末までに検討委員会としての方向性を示していただく予定ですが、その間、町民のみなさんのご意見をいただく

ため、地区懇談会、アンケート調査などを行うことを予定しておりますので、その際はよろしくご協力をお願いします。

（教育長 高橋稔）



全戸配布した「新しい西和賀を拓く子どもたちのために」

POSTCARD

0 2 9 - 5 5 1 2

50円切手を貼ってください

和賀郡西和賀町川尻 40-40-71

西和賀町役場湯田庁舎 広報係 行

ふりがな

氏名

住所

□□□ - □□□□

電話

年齢 / 歳、性別 / 男・女

氏名の記載を

・希望する ・希望しない

みんなの声

お便りを随時募集中!!

1. 氏名と住所は、必ずご記入ください。氏名、住所の記載が無い場合は取り扱いません。
2. お寄せいただいた文章は「西和賀町広報発行規定」により公平に取り扱います。
3. 文章は、広報編集委員会にて広報発行の表記方法にしたがって編集することがあります。
4. 氏名、住所、年齢などは原則として広報に掲載しますが、公表したくない場合は「希望しない」を○で囲んでください。

※お寄せいただいたお便りは、すべて掲載できませんので予めご了承ください。

問合先 / 企画課（湯田庁舎）広報係 ☎ 82-3284

ありがとうなきがな 故郷

広島県出身

渡辺哲哉さん（両沢）

⑥

あなたの出身地を教えてください

広島県広島市です。

西和賀町に住むようになった理由

子どもの頃から「奥羽山脈」に憧れていました。日本人の心のふるさと、原風景がここにありました。東京の知人がこちらの方と友だちだったため、紹介され訪れて、移住を決めました。専門農家が多いことも後押ししてくれた要因です。



<http://www.echna.ne.jp/~yukibo/>
奥羽の山里からの農村通信

<http://ouu-yamazato.com/>
奥羽の山里農村いちば

▶ 昨年誕生した賢平ちゃんとりんとうと

沢内に移り住んで11年目という渡辺さん。脱サラインターンし、新規に農業を始めました。りんどう栽培を経営の柱として、ホームページを利活用しながらお米や野菜の直接（宅配）販売を行っています。渡辺さんは、直売などを通して「西和賀やわが家の農業に関心ある人たちと心の通う交流をしていきたい」と話し、「西和賀のように昔話に出てくるような世界、本当の田舎らしい山里は、いまや全国的にも貴重です。その魅力、都会人にとって憧れのオアシスのような存在になっていくこの風土の物語性を付加した農産品を、積極的にアピールしていく農業戦略が大事だと考えています」と日々農業に取り組んでいます。

出身地はどんなところですか

雨が少なく気候は穏やかで、夏はやはり暑いところです。むーっとした暑さはいまでも皮膚にしみこんでいます。路面電車が走り、広島カープをみんなで応援しています。海も山も近くて、中国地方の中心地として交通の要所でもあります。

出身地の特産品は何ですか

海のミルクといわれるカキ、もみじ饅頭、そして広島風お好み焼きです。段々畑のミカン栽培も良い景観をなしています。

出身地の有名人は

芸能人では吉田拓郎さんや西城秀樹さん、矢沢永吉さんでしょうか。政治家では首相をやった宮沢喜一さん、古いところでは池田勇人さん。作家の井伏鱒二さん（『黒い雨』山

出身地の名所や観光スポットは

宮島の厳島神社は海に張り出した独特の作りで有名ですが、やはり何と言っても平和祈念公園です。この原爆資料館は広島の子どもたちは必ず見学していますが、とても強烈に原爆の怖さを感じさせられます。

椒魚」などです。



広島市データ

人口 1,154,595人

世帯数 487,471世帯

面積 741.75km²

ホームページ

<http://www.city.hiroshima.jp/>

ご自由にご記入ください

タイトル

【 】のことについて

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

菊に魅せられて

深澤節子さん（太田・67歳）



大正琴、グランドゴルフ、菊作りと多趣味な深澤節子さん。今の時節は菊が咲く時期とあって、菊作りに余念がありません。

始めたのは十数年前から。「ほかの人の作った菊をみて、あやあよくこんな大きく咲かせるもんだ」と興味や関心があったところに恩師の大川一さん（新町）から『節子、うがもやれ』と言われたのがきっかけです」と話します。そして、大川さんから一から教わり「すぐにはできなかつた。菊に病気がついだりして、2・3年かかったべが。覚えるまで

は難しいが、こだわげを知らればそれほど難しいものではない」と言い、今では小さいものを含めて70鉢ほど植え菊作りを楽しんでいます。そして、旧沢内村芸術祭の菊花展では幾度となく最高賞の村長賞を受賞するまでになりました。

菊の花は、苗を植え、成長してきたところでさし芽をします。さし芽とは、春に鉢から顔を出してきた芽を摘み、それに根がよくつくように発根剤を塗り鉢に植えることです。そうすると、切り分けた芽から根がつきやがて花が咲きます。これを繰り返すことで、一つの苗から何十年も花を咲かせることができます。

オオギクでは、一つの苗から3本（これをそれぞれ天・地・人と呼びます）の茎が育つようにします。そうして、その茎に一つだけ花を咲かせるように芽を摘んでいきます。茎は折れないように、伸びた都度支柱に結わえます。3本の茎の長さも品評時の重要な要素になるため、つまようじを茎に刺し成長を遅くするなどして調節していきます。今では「おべだくれだば教える」

ということで、近所の奥さん数十人に技を伝授しています。また、その仲間同士

で福島県の二本松市や秋田県の横手市などの菊まつりを訪れ、目の保養と「見歩いて、いい苗っこあれば買ってくる」と苗の購入や親睦を兼ねた研修を行っています。

深澤さんがつくるのは主にオオギク、フクスケ、ダルマなど。菊は生き物です。そのため、毎日手をかけなければなりません。通常はたつぷりの水を一日一回ですみますが、今年のような夏は朝晩の水掛が必要でした。

また「風吹けば鉢が倒れるべ。台風あるっていえば、車庫に入れたりするのが難儀だ。年取つてからだば、あんまり大きなものはできないかも」と言いつつも「お父さんが協力的なんだ。つぼみ壊すがらやめだけ



「家族の協力があつてこそ続けることができます」と話す節子さん

ろつて言つても、手かげでける」と家族の協力があつてこそ続けることができますと言います。「きつとやれるうじだば、やると思うな。だんだんに大きい鉢はやれねがもしれね。んでも咲いだ時にきれいだからやめられねもんな」

育てた菊は、品評会や文化祭に出したり、兄弟に差し上げたりし販売はしていないそうです。

「菊作りを何十年もやっているども、満足したことはない。別なつぼみにすれば良かった。こうでねば良かったなと、いつつもいつつも感じる」

たくみ

匠の

しんずい 神髄

⑩

・国選弁護人関連業務（国選弁護人を確保し、捜査から裁判まで一貫した国選弁護体制の整備）

法テラスコールセンター（一般相談は☎0570-078374、犯罪被害者相談は☎0570-079714）

問合先／日本司法支援センター 岩手地方事務所 ☎080-1367-8096

その他

川尻大通簡易郵便局営業

平成18年11月1日から「川尻大通簡易郵便局」の営業を開始します。

取扱時間／9:00～16:00

問合先／川尻大通簡易郵便局 ☎82-2350、川尻郵便局 ☎82-3122

石綿特別健康診断

（財）岩手県予防医学協会では、過去に石綿を製造または取り扱う業務に従事し、事業場の廃業などの理由から石綿健康相談を受診できない退職者の方に、無料で健康相談を行います。

対象／次のすべてに該当する方
①従事していた作業が特定できること。

②初回ばく露から10年以上経過していること。

③事業場が廃業や倒産、健康診断を拒否するなどの理由で石綿健康診断を受診できない状況にあること。

④石綿に係る健康管理手帳を所有していないこと。

※申し込みした方全員が受診できるとは限りません。

受付期間／11月1日（水）～17日（金）

問合先／（財）岩手県予防医学協会 ☎019-638-7185、同県南センター ☎0197-44-5711

高齢者・障害者なんでも110番

岩手弁護士会などでは、高齢者・障害者とその家族、関係者からの相談に、面接または電話で応じる「高齢者・障害者なんでも110番」を行います。

日時／11月15日（水）13:00～17:00

面接場所／岩手県福祉総合相談

センター（盛岡市本町通）

相談電話番号／☎019-626-2205

相談内容／法律・医療・介護・福祉サービスなど

問合先／渡辺正和法律事務所 ☎019-604-6321

サラ金・クレジット相談

岩手弁護士会消費者問題対策委員会と岩手県消費者信用生活協同組合では、サラ金・クレジット相談会を行います。多重債務の相談や利息制限法による利息再計算（簡易計算）のほか、債務状況に応じ弁護士の引き受けも行います。

日時／11月23日（木）10:00～16:00（要予約）

場所／信用生協北上事務所（北上市コープ花北オリザ内）

予約・問合先／岩手県消費者信用生活協同組合 ☎019-653-0001

イイ歯デーテレホン相談

岩手県保険医協会では、歯や口の中の健康に関する無料電話相談「イイ歯デーテレホン相談」を行います。

日時／11月8日（水）10:00～20:00

相談内容／歯あるいはお口に関する悩みについて何でも

相談料／無料

相談電話番号／☎019-651-7341（岩手県保険医協会イイ歯デーテレホン相談係まで）

再就職に備えるセミナー

（財）21世紀職業財団では、育児・介護により退職した人が再就職に備えるための無料セミナーを行います。

日時／11月28日（火）・29日（水）ともに10:00～12:30

場所／なはんプラザ（花巻駅前）
主な内容

・講演「再就職への設計図」
ファイナンシャルプランナー・高橋ミドリさん

・同「話し方であなたは変わる」
フリーアナウンサー・川村龍雄さん

定員／20人程度（託児あり）

申込・問合先／（財）21世紀職業財団岩手事務所 ☎019-653-8681

戸籍の窓 （敬称略）

9月15日～10月16日受付分

※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

お悔やみ申し上げます

高橋 竹松・82歳・耳取
菅原 ミヤ・93歳・大沓
川村 キミエ・89歳・川尻
猿橋 リヤ・76歳・猿橋
盛島 チエノ・101歳・新町
石井 アサノ・94歳・川舟
福田 タマ・87歳・貝沢
田村 政三・85歳・間木野
高橋 トクヨ・86歳・猿橋
吉田 孝一・86歳・川舟

ご誕生おめでとうございます

藤井 結花・女・大和・太田
小林 風翔・男・武史・槻沢
南川 環樹・男・英樹・湯本
山田 陽介・男・浩樹・下左草

末永くお幸せに

梨子下 益実) 上野々
高橋 優) 上野々

住民の動き （9月末現在）

項目	実数	前月との比較
転入	8	—
転出	11	—
出生	3	—
死亡	13	—
人口	7,520	▲13
男	3,533	▲2
女	3,987	▲11
世帯数	2,524	1

交通事故の状況 （9月分）

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	8	0	0	0	0
累計	(115)	(20)	(18)	(1)	(1)

（ ）は1月からの累計

火災・救急の状況 （9月分）

■火災

区分	火災出場件数	損害額
件数	0件 (2件)	(1,470万8,000円)

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	1件 (16件)	10件 (103件)	16件 (94件)	27件 (213件)
搬送人員	1人 (16人)	10人 (99人)	16人 (88人)	27人 (203人)

（ ）は1月からの累計



役場から

宝くじ助成で地域活性化を

(財)自治総合センターでは、宝くじの事業収入を財源として、住民が自主的に行う活動を支援します。平成19年度に助成を希望する団体を募集します。**対象**／自治会・町内会などの広域的な共同活動を行っている団体の施設または設備(備品)の整備に対して助成します。ただし営利団体やイベントなどのため一時的に組織された団体は除きます。

条件／活動が地域に密着して行われていること

助成金額／一般コミュニティ事業で250万円まで

申込期限／11月6日(月)必着

申込・問合せ先／企画課(湯田庁舎) ☎ 82-3284

児童虐待防止推進月間

11月は「児童虐待防止推進月間」です。

「あなたの『もしや?』が子どもを救う」。児童虐待は、子どもの心や体を深く傷つける、決して許されない行為です。家庭や学校、地域が力を合わせて虐待を防止していきましょう。

子どもの虐待が疑われたり、発見したときは、保健福祉課まで連絡ください。

連絡・問合せ先／保健福祉課(沢内庁舎) ☎ 85-3412

志賀来スキー場従業員募集

町では、今年度の志賀来スキー場従事員を募集します。

作業内容／リフト運行、スキー場・クロカンコース整備など

従事期間／12月11日(月)～3月31日(土)

応募書類／申込書(学務課で配布)、履歴書※申込前に確認のこと

応募資格／昭和16年4月2日以降生まれ(今年度65歳まで)で健康に自信のある方

申込締切／11月17日(金)

問合せ先／学務課(沢内庁舎) ☎ 85-2337

里親制度をご存知ですか

里親とは、親の病気や離婚などの理由によって、あたたかい家庭を求めている子供を自分の家庭に迎え入れ、愛情を込めて養育する方のことです。

里親になるには特別な資格は必要ありませんが、子供が大好きであることや健康的で明るい家庭であることなどが条件です。

問合せ先／保健福祉課(沢内庁舎) ☎ 85-3412、岩手県福祉総合相談センター ☎ 019-629-9608

国や県から

地方税特別滞納者整理機構

県と市町村では、「岩手県地方税特別滞納整理機構」を設置し、悪質な滞納者に対する滞納整理にあたることになりました。

財産があるにもかかわらず納税に応じなかったり、再三の納税相談の呼びかけや催告に応じなかったりする場合は、差し押さえを前提にした厳しい処分を行うこととなりますので、ご理解とご協力をお願いします。

問合せ先／税務課(沢内庁舎) ☎ 85-3414

女性の人権ホットライン

岩手県人権擁護委員連合会と盛岡地方法務局では、女性の人権相談に電話で応じる「女性の人権ホットライン」強化週間を行います。

期間／11月13日(月)～19日(日)

時間／平日は8:30～19:30、土曜日と日曜日は10:00～17:00

相談内容／夫・パートナーからの暴力、職場におけるセクハラ、ストーカー行為などの女性をめぐる人権問題ほか

相談電話番号／☎ 0570-070-810

問合せ先／盛岡地方法務局 ☎ 019-624-9859

食の体験と産直めぐり

岩手中部地区広域市町村圏事務組合では、花巻市東和町地方の保存食、伝統食作りの実習を通して、食への関心と再発見を図るため「食の体験と産直めぐ

り」を行います。

日時／11月22日(水) 10:00～15:30

場所／花巻市東和総合福祉センター(花巻市東和町安俵)

対象／圏域住民

内容／①「祭り寿司」調理コース②「だまこ汁」調理コース

③「きび餅」調理コース(各コース定員10人)

参加料／500円

問合せ先／岩手中部地区広域市町村圏事務組合 ☎ 0198-24-2111

県立農業大学校学生募集

岩手県立農業大学校では、平成19年度学生を募集します。

◆一般入学前期

出願期間／11月27日(月)～12月7日(木)

試験日／平成19年1月9日(火)

◆一般入学後期と社会人特別入学

出願期間／平成19年2月13日(火)～26日(月)

試験日／平成19年3月6日(火)

試験場所／いずれも岩手県立農業大学校(金ヶ崎町六原)

問合せ先／岩手県立農業大学校 ☎ 0197-43-2211

法的トラブル解決「法テラス」

日本司法支援センター「法テラス」は、法的トラブルを解決するための情報やサービスを全国どこでも受けられるよう、全国に50カ所以上の事務所を置き、10月から業務を開始しました。法的トラブルを解決するのにどのような方法があるのか、どこに相談すればよいのかわからないときは、法テラスコールセンターまでお気軽にお電話ください。

主な業務

- ・情報提供(法的トラブルの解決に役立つ情報の無料提供)
- ・民事法律扶助(資力の乏しい方のための無料相談や裁判費用などの立て替え)
- ・司法過疎対策(弁護士がいらないなど法律サービスを受けることが難しい地域での適切な料金での法律サービスの提供)
- ・犯罪被害者支援(被害者支援に詳しい弁護士や支援団体などに関する情報の無料提供)

西和賀探訪 …… ⑪

西和賀町の歴史・文化・観光施設・イベントなどを紹介します

■碧祥寺博物館

国が指定する重要有形民俗文化財になっている丸木舟や雪国生活用具をはじめとする1792点を収蔵しています。

◆入館料

大人500円、大学生・高校生300円
小中学生200円
※このほか団体割引もあります。

◆営業時間

9:00~17:00

※毎週火曜日は休館日です。また、12月29日から翌年3月31日までは冬期間のため休館します。

◆お問い合わせ先

☎0197-85-3330



■西和賀町歴史民俗資料館

昭和45年9月発見され、翌年から発掘調査された大台野遺跡の出土品や考古資料、民俗資料などを展示しています。

◆入館料

小中学生50円、高校生以上100円
※このほか団体割引もあります。

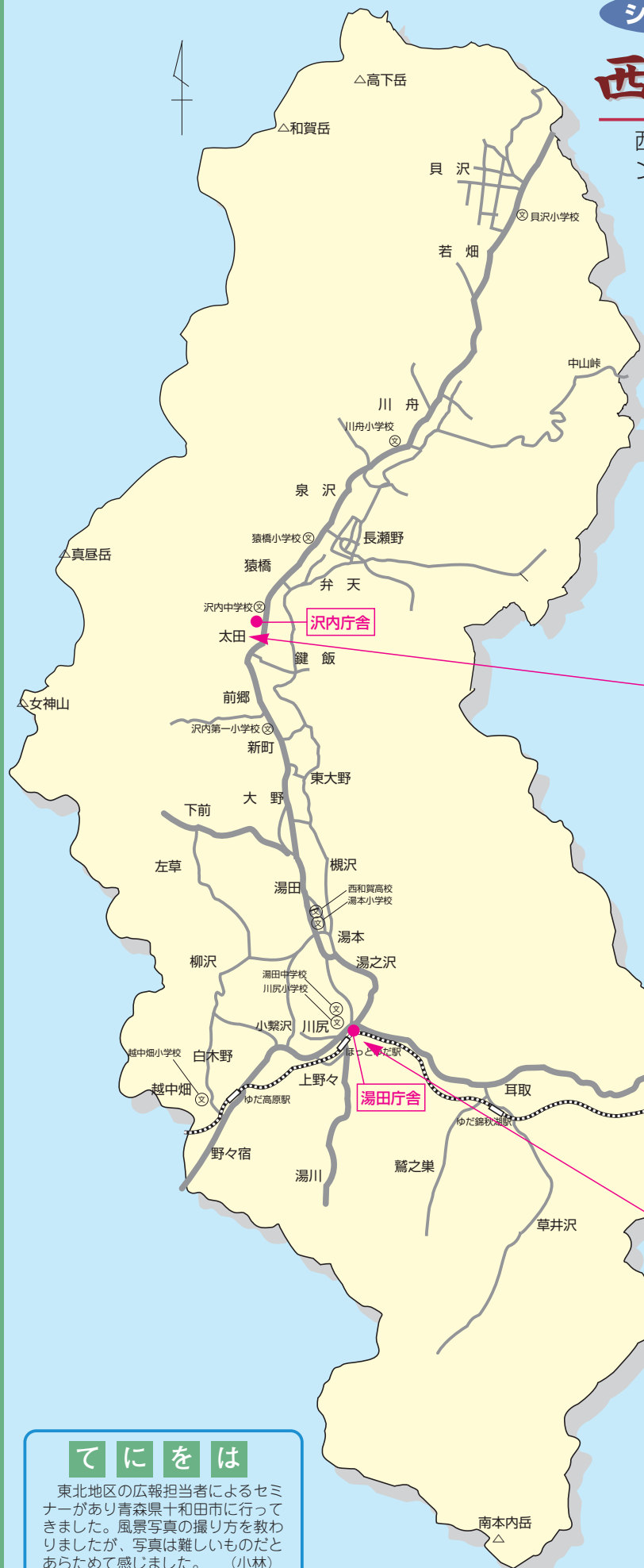
◆営業時間

9:00~16:30

※毎週月曜日は休館日です。また、12月から翌年3月までは冬期間のため休館します。

◆お問い合わせ先

☎0197-82-3240（銀河ホール内の生涯学習課につながります）



てにをは

東北地区の広報担当者によるセミナーがあり青森県十和田市に行ってきました。風景写真の撮り方を教わりましたが、写真は難しいものだとあらためて感じました。（小林）